

アウトリーチ型情報提供調査

調査結果報告書



令和8年3月
沖縄県こども未来部

I. 目次

I 調査の目的と概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 報告書の見方	3
II 調査結果	5
1. 支援従事者調査	5
(1) 所属団体	5
(2) 雇用形態	6
(3) 業務内容	7
(4) 支援対象および支援内容	8
(5) 現在の所属団体における経験年数	9
(6) これまでの経験年数	10
(7) 担当業務の週当たりの相談件数	11
(8) 主な活動地域	12
(9) 過去1年に対応した相談や支援で多かったもの	13
(10) 相談や支援につながるまでのタイミング	14
(11) 支援対象者が窓口につながったきっかけ	15
(12) 所属団体が実践する情報提供とその有効性	16
(13) 支援対象者への情報提供手段で有効だと思うもの	18
(14) 情報提供が困難であると感じる理由	19
(15) 情報が届きにくいと感じる対象者層	20
(16) 支援情報の入手先	21
(17) 県から配信される支援情報の分かりやすさ	22
(18) 分かりにくい理由	23
(19) 県から配信される事業や支援に関する情報のタイミング	24
(20) 支援対象者が相談や支援につながりやすい内容・伝え方	25
2. 支援対象者調査	27
(1) 関係団体への相談や支援の状況	27
(2) 相談や支援を受けた際に抱えていた困りごとや悩みの内容	28
(3) 性別	29
(4) 年齢	30
(5) 国籍	31
(6) 婚姻状況	32
(7) 職業	33
(8) 同居者	34
(9) 同居する子の人数	35
(10) 同居する子の年齢	36
(11) 同居する孫の人数	37
(12) 同居する孫の年齢	38
(13) 家計を主に支える人	39
(14) 経済的な暮らし向き	40
(15) 困りごとや悩みの相談先	41

(16) 相談しない理由.....	42
(17) 支援や相談窓口につながった経緯.....	43
(18) 支援や相談窓口につながったタイミング.....	44
(19) 遅かったと感じた理由.....	45
(20) 支援情報を探す際の手段.....	46
(21) 支援や相談に関する情報を見たり受け取った場所.....	47
(22) 支援や相談に関する情報を見たり受け取った手段.....	48
(23) 有効だと思う情報提供の手段.....	49
(24) 相談しやすいメッセージ.....	50
(25) おきなわ女性財団(ているる)が実施する講座やセミナーへの参加実績.....	51
(26) 講座やセミナーを知ったきっかけ.....	52
(27) 仕事およびキャリア、学び、地域活動などに関する情報を得る手段.....	53
(28) 講座やセミナーに参加しようと思ったきっかけ.....	54
3. 潜在対象者調査.....	55
(1) 居住地域.....	56
(2) 性別.....	58
(3) 年代.....	59
(4) 国籍.....	60
(5) 婚姻状況.....	61
(6) 職業.....	62
(7) 同居者.....	63
(8) 同居する子の人数.....	64
(9) 同居する子の年齢.....	65
(10) 同居する孫の人数.....	66
(11) 同居する孫の年齢.....	67
(12) 家計の主な担い手.....	68
(13) 経済的な暮らし向き.....	69
(14) 困りごとや悩みの相談先.....	70
(15) 相談しない理由.....	72
(16) 行政支援・公的相談窓口を利用しなかった理由.....	74
(17) 支援・相談情報の入手経路.....	76
(18) 支援・相談情報を見聞きした場所.....	78
(19) 支援・相談情報を見聞きした手段.....	80
(20) 有効だと思う情報提供手段.....	82
(21) 相談しやすいと感じる行政メッセージの内容.....	84
(22) おきなわ女性財団主催の講座・セミナー参加状況.....	86
(23) 講座・セミナーを知ったきっかけ.....	87
(24) 仕事・キャリア・学び・地域活動に関する情報の入手手段.....	88
(25) 講座・セミナー参加のきっかけ.....	89
Ⅲ 関係団体等ヒアリング結果.....	91
1. 概要.....	91
2. 調査結果.....	92
Ⅳ 調査結果の分析.....	103
1. 支援従事者調査.....	103
2. 支援対象者調査.....	104

3. 潜在対象者調査	106
4. 関係者団体等ヒアリング結果.....	109
5. 調査協力研究者	110
V 資料編.....	111
1. 調査票.....	111
(1) 支援従事者調査	111
(2) 支援対象者調査.....	119
(3) 潜在対象者調査.....	128

I 調査の目的と概要

I 調査の目的と概要

1. 調査の目的

(1)調査の目的

沖縄県こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課が実施している事業の対象者等を対象に、同課の事業をはじめとする県の施策について、より効果的な周知方法を検討することを目的とする。

そのため、対象者がどのように情報を取得しているかを把握するとともに、県がアウトリーチ型情報提供(※)を実施する場合のニーズや課題等について、県民の意見を調査する。

(※)アウトリーチ型情報提供

行政の取組や支援につなげるため、行政や支援機関が、行政の各種施策や支援に関する情報が届いていない人に対して、積極的に働きかけ、情報を届けること。

2. 調査の概要

(1)支援従事者調査

本調査は、沖縄県こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課が実施している事業の関係団体に所属する支援者および相談員等を対象に実施した。

調査対象は、同課事業の実施団体を通じて把握した支援従事者とし、団体経由で調査のWEB 回答フォームの URL を案内し、対象者が任意で回答する方法により実施した。

なお、本調査は無作為抽出によるものではなく、当該事業に関わる支援従事者を対象とした依頼に基づき実施した。

母集団	こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課が実施している事業の関係団体※に所属する支援者および相談員
調査方法	団体経由で調査案内を実施し、WEB 回答フォームにて回収
調査期間	令和7(2025)年11月25日～令和8(2026)年2月6日
有効回答数	51s

※関係団体とは、以下の4団体を指します。

- ・公益財団法人おきなわ女性財団
- ・各県福祉事務所(北部・中部・南部・宮古・八重山)
- ・公益社団法人沖縄県母子寡婦福祉連合会
- ・沖縄県マザーズスクエア 各ゆいはあと(北部・中部・南部)

(2)支援対象者調査

本調査は、こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課が実施する事業による支援を受けている者を対象に実施した。

調査方法は、関係団体を通じて調査案内チラシを配布し、QRコードを読み取ることでWeb回答へアクセスする方式により実施し、回答は任意とした。

そのため、本調査の対象は、同課事業に関連する支援団体の利用者・相談者に限定されており、県民全体を代表するものではない。

母集団	こども未来部 女性力・ダイバーシティ推進課が実施している事業の関係団体の利用者・相談者
調査方法	団体経由で調査案内を実施し、WEB 回答フォームにて回収
調査期間	令和 7(2025)年 11 月 28 日～令和 8(2026)年 2 月 9 日
有効回答数	68s

(3)潜在対象者調査

本調査は、インターネット調査(インターネットアンケートの登録モニターに対する調査)として下記の設計により実施した。

調査対象	沖縄県内在住の 18 歳以上の男女 下記に記載するスクリーニング項目について、過去に困ったり、悩みを抱えたことのある方で、行政からの支援(相談窓口への相談を含む)を受けたことがない方
調査方法	インターネットアンケートの登録モニターに対する調査
調査期間	令和 7(2025)年 12 月 16 日～12 月 18 日
調査の進め方	対象者を特定するため、以下の 2 段階で実施 ① スクリーニング調査結果 登録モニター(沖縄県在住の18歳以上の男女)から対象者を抽出するため、過去に特定の困りごとや悩みを抱えた経験のある方を把握するスクリーニング調査を実施  ② 本調査 スクリーニング調査で特定した調査対象者に本調査を実施。基本属性や生活状況・意識、相談・支援ニーズ等を把握
有効回収数	300s 対象となる回答者数を考慮し、年代・性別等による割付は実施していない。
スクリーニング項目	1. 配偶者・パートナーから暴力(DV)や、恋人からの暴力(デートDV)がある 2. 配偶者・パートナー以外の家族からの暴力がある

スクリーニング 項目	3. 職場や学校等で人間関係がうまく築けない、いじめやハラスメントを受けている 4. 性的な被害や問題を抱えている(性暴力や性的虐待、望まない妊娠等) 5. 上記の問題(DV／デートDV／暴力・いじめハラスメント性暴力)につき自身の加害行為のことで悩んでいる 6. 家族とうまくいかない、家族に関する問題を抱えている 7. 仕事が見つからない、仕事が不安定 8. 経済的に困窮している(光熱水費、食糧費、医療費等を支払えない等) 9. 健康面の不安が大きい(メンタルヘルス含む) 10. 住まいが定まらない、家に居場所がない 11. 孤独・孤立を感じる 12. 性自認や性的指向に関して悩みを抱えている(LGBTQ等に関すること) 13. 国際結婚や離婚、在留資格など外国籍に関わることで悩みを抱えている 14. ひとり親として子育てや生活に困難を感じている 15. 男性特有の悩みや困難(父子家庭、男性相談で扱われる課題など)を抱えている 16. どれにもあてはまらない
---------------	---

3. 報告書の見方

(1)調査結果の見方

- 回答結果の割合(%)は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第2位で四捨五入しているため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ)であっても合計100%にならない場合がある。
- 複数回答(2つ以上の選択肢を選択できる質問)の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100%を超える場合がある。
- 集計サンプル数が少ない属性項目については、1サンプルあたりの重みが大きく、比率が変動しやすいため、結果の利用には注意を要する。

